

## 日本共産党・辰巳孝太郎衆院議員が省庁レク 万博剰余金370億円を未払い業者に回せ

日本共産党の辰巳孝太郎議員は 28 日、大阪・関西万博の工事代金の未払い問題をめぐり、この間の国会質疑で回答が積み残されていた点について、経産省、国交省、スポーツ庁の担当者に対し、進捗状況を聞き取るレクを行いました。前日 27 日、万博の成果を議論する政府の「成果検証委員会」が会合を開き、最大 370 億円と見込まれる運営費の剰余金を、レガシー（遺産）と位置づける三つのテーマに均等に配分するとして報道に関わって、「その一部を未払い業者に回すべきだ」と提案。「被害者救済なくして成功とはいえない。解決に向け、国会でさらに取り上げていきたい」と迫りました。

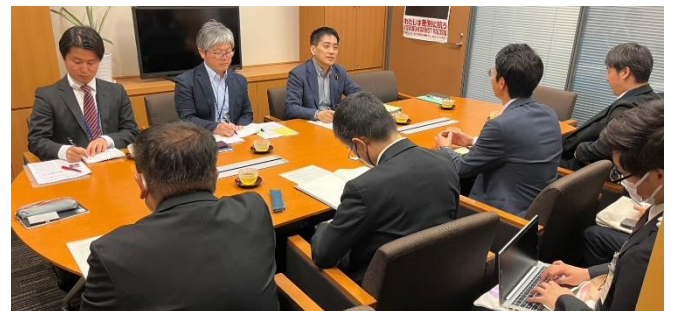
### 「被害者救済なくして成功とはいえない」 解決に向け国会でさらに追及する

万博のレガシーを①万博で示された先端技術の実用化などを支援する「つながり」の拡大②万博の理念を継ぐ文化・教育活動を支える創造活動の深化③大屋根リングの保存を含む「場の記憶」の継承—の 3 テーマに整理。剰余金を各テーマに 3 分の 1 ずつ割り当てる案を示しています。経産省に対し、辰巳議員は「その一部でも未払い被害を受けた下請け業者に回すべきだ」とたどしました。

万博で被害が生じた時の保障として貿易保険があったにもかかわらず、被害業者には知らされていなかった問題も質問。どのくらいの企業が保険を掛けたか、GL 社は対象になっていたか、どんな取引が対象かなど、担当者が調べて報告すると約束しました。

また、中国パビリオンの発注者である中国の政府機関・中国国際貿易促進委員会が、日本の元請け企業に代金を支払っていない問題でも進捗を確認。「中国側にも、当事者企業にも連絡を取っている」ことを明らかにしました。

スポーツ庁は「係争中のため、GL 社から資料の提出を受けられない」と、アジア大会に向け問題の把握すら進んでいない状況を明かしました。



関係省庁に問題解決の進捗を聞く辰巳議員（奥一番右）

#### 建設業法違反を放置するな

国交省には許可行政庁である東京都任せにせず、係争中だから事態が動かないで済ませないでほしいと訴え。一般論としつつ「2~3 次下請けが未払いとなった場合、建設業法では立て替え払いを含め最上位元請けの責任を規定している」と述べ、都に対し、助言と働きかけを行うとしました。

#### 事態打開に向け東京都への要請も準備

全商連は 5 月中下旬、辰巳議員とも協力して、深刻な未払いを起こしている GL 社や GS 社に建設業許可を出した東京都に対し、問題解決のための進捗状況をたずねる要請を計画します。日程など詳細が決まり次第連絡します。